



新吉田

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida>

横浜市立新吉田小学校

「ていねいに」生きる

校長 関谷 道代

給食の食缶などを返しに来る給食当番の子どもの姿を見守っていると、様々な面が見えてきます。

しゃもじやお玉やトングをガチャンと返す子どもがいる一方で、それぞれの器に音を立てないようにていねいに返す子ども、食器の入ったかごを持ち上げてそっと置く子ども、形の違うトレーをしっかりと見分けて確かめてから重ねる子どももいます。そんな子どもには、「ていねいに返してくれてありがとね」とつい声をかけたくくなります。

お礼を言われたほとんどの子どもは、「え、そんなことでほめてくれるの?」と意外な表情をします。テストの点がよかったり、字が上手に書けたり、サッカーの試合でたくさん得点を入れたりしたらほめられますが、点数や形にあらわれないこういうしぐさはなかなか評価されにくいところかもしれません。

生け花をされる方は、花を生け終えた後、不要になった枝を三寸くらいに切りそろえてまとめるそうです。

そういえば、お箏の先生のお宅にお稽古に行くと、いつだってお箏のカバーが無造作に置かれることなく、端と端をそろえてきちんとたたまれていたことを思い出しました。



コロナ禍で校内テレビ放送が主流だった朝会が、校庭において対面で行うことが増えてきました。757名の全校児童が目の前にいる朝会は、意外にも朝礼台の上から子どもたちの様子がよく見えるものです。

背筋を伸ばして凛と立つ姿勢

「おはようございます」と声を出してから礼をする語先後礼(ごせんごれい)

「やすめ」の姿勢

そしていちばん大切なのは、やさしい気持ちで「聞く」こと。

11月27日～12月8日は人権週間です。思いやりをもってまわりの友達を大切に、助け合い、共に生きていこうとする気持ちの育成を図ることをねらいとしています。

やさしい心で「聞く」力を発揮してください。教室で話合いをするとき、何人かで一斉に話したり、手を挙げないで関係ないことをぶつぶつ言ったりしている人がいたら、聞きたい話を聞けない人が出てきてしまいます。誰かが話しているときは、他の人は話してはいけません。やさしい耳で聞いてあげることを心掛けてください。そして、自分が話す番になったら、勇気を出して自分の言葉でしっかり伝えてください。まわりの人がしっかり聞いていると、とても話しやすくなることに気がきます。

特別なことをしなくてもいいのです。いつもやっていることを、ほんの少しだけ「ていねいに」やってみる。ロッカーの中にランドセルを入れるとき、いつもよりきちんと入れてみる。下駄箱のくつを、そろえて置いてみる。友達の話、目を見て心を込めて聞こうとする。

2023年も残すところ1か月となりました。今年の終わりを「ていねいに」締めくくれますように。今年最後の月、12月もどうぞよろしくお願いいたします。